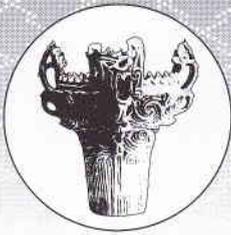


振興会だより



なかじょう

平成24年
12月10日号
No.22

発行／十日町市中条地区振興会 編集／振興会・青少協広報部 事務局／中条公民館 ☎025-752-2748

11/10・11

SLが40年ぶりに運行！

JR東日本信濃川発電所の不正取水問題に伴う発電取水再開協議でのJR東日本と十日町市の共生策の一つであり、目玉のSL“信濃川ロマン”が運行された。

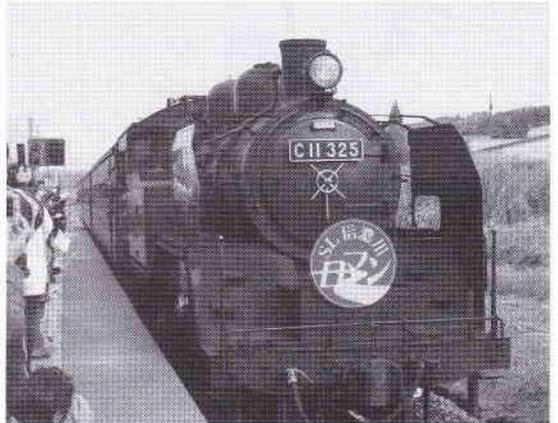
SL乗車体験記

中条旭町 滝澤青葉

飯山線に40年ぶりとなるSLが運行され、幸運にも乗車する機会があった。私が物心ついたときには既にディーゼルカーであったために現役の姿は見たことがないが、周囲からは「懐かしい」という声が多く聞こえた。昔ながらの客車は現代のもの比べるとお世辞にも乗心地は良いとは言えないが、それが雰囲気盛り上げる。窓枠が木枠であったり、窓下に栓抜きがあることなど、現代の仕様と全く異なる趣である。今ではすっかり少なくなった蒸気暖房装置による暖房も味わい深いものがあった。かつての客車列車がそのままタイムスリップしたかのような感触だ。

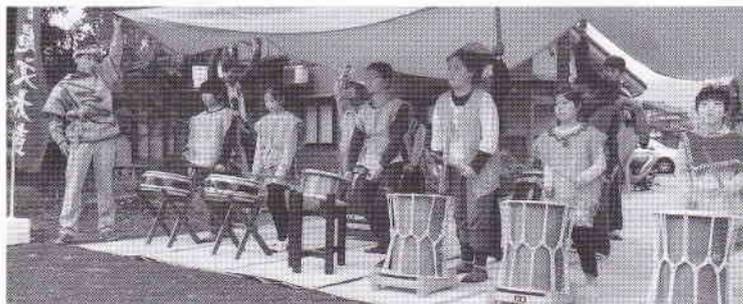
今回運転された蒸気機関車は小型のもので、他の大型蒸気機関車と比べると迫力が違い、「かわいい」印象を持った。しかし、飯山線に入った途端に元気に息づき、汽笛などは生き物のように鼓動した。それを体験できたのはとても貴重であった。

昔ながらのSLが復活できたことに周囲の関係者や地元の方々の並々ならぬ努力があったものと想像できる。心からお礼申し上げるとともにこのイベントが一過性で終わらずに継続して欲しいものである。



今回のSLのイベントに合わせ縄文の里中条を大いにアピールしました。

この横断幕は今後様々な催しに活用いたします。



6年 根津紗梨菜

今日私は、初めて本物のSLを見ました。

SLが止まっている時、私達縄文太鼓部員は、『火焔太鼓』を叩きました。SLからお客さんが降りて来て、たくさんの人達が見て聞いてくれたのが嬉しかったです。出発する時の、汽笛がすごく大きい音だったのでびっくりしました。

ご来場、ご協力ありがとうございました

第22回 ふれ愛なかじょう公民館まつり

10月
6日・7日

第20回 花火大会



野の花を活ける会

旭町 滝澤フミイ

身近な草花を見ると、たとえようのない美しさを持っていることに気づかされます。そんな野の花のあたたかさ、やさしさを大胆に活かしてみました。「きれいだね。名前なんて言うの?」と聞かれる事もあります。野に咲く草花は精いっぱい姿を見せてくれているのです。



公民館まつりに出演して

旭町 岩田 紘子



毎年恒例の発表部会に公民館を使っている団体の一会員です。

日頃の練習の成果を発表させてもらい、少しでも地域の皆様に楽しんで

いただけたらと思っております。

下は小学生から上は七十才ですが舞台に立つといつも胸はドキドキ、足はガクガクしますが心をこめて一生懸命に踊りたいと思っております。正に生涯学習かなと自負しながら体の動く限り楽しみながら踊らせていただきたいと思います。

バレーボール大会に参加して

中条体協常任理事 曾根 忠之 (太子堂)

11月4日に中条中学校体育館にて、第34回中条地区町内対抗バレーボール大会が行われました。

今年は10町内から参加をいただき、中学生から60代の方まで年代の壁を超え、各町内がひとつになりボールを追いかけてきました。年に一度この大会でしかバレーボールを触らない方も多くいますが、歓喜・拍手・ハイタッチなどチームスポーツの醍醐味を多くの方が味わえたようです。成績は次の通りです。

優勝 旭町 (3連覇) 準優勝 中町 3位 島・太子堂

第51回校区民体育祭成績(7月22日)



優勝	北原	4位	新田	
	2位	旭町	5位	梅花
	3位	上町	6位	峠



町内対抗ソフトボール大会成績(9月9日)

優勝	太子堂
2位	旭町
3位	上原 旭ヶ丘





交通安全表示板を 取り付けました

青少年育成協議会の環境整備活動として地域協議会から予算をいただいて、県道中条・田川線（旧道）の上原から島の間、通行車両に注意を促す表示板を20枚取り付けました。これは道幅の狭い旧道を、登下校で使用する小中学生等を守るために設置させていただいたものです。

これから冬になって、雪が積もると道幅は余計に狭くなってしまいます。ドライバーの皆さんは十分注意して走行していただくようお願いします。

ホタル観察会

6月
28日(木)

中条公民館 和田 唯

小学生以来、約10年ぶりにホタル観察会に参加しました。最近ではどんどんホタルの姿が減ってきているなか、たくさんのホタルを見ることができました。中条は自然に恵まれた良い所だなあと思いながら子どもたちと一緒にってはしゃいでしまいました。

たまたま同じ日に国際宇宙ステーションも肉眼で見ることができ、一度に二度の感動を味わえました。貴重な体験をありがとうございました！



交通事故防止活動で表彰

このたび、長年に渡って交通事故防止活動を促進してきたとして、上原新町の澤野利弘さんが緑十字銅賞を受賞され、中町の登坂浩さんと中条地区青少年育成協議会が新潟県警本部長より表彰を受けました。これはひとえに地域の皆様のご協力と、いままで長年にわたりご指導くださいました諸先輩方のお力とっております。大変ありがとうございました。これからも諸々の活動を通じて、事故の無い中条にしていきたいと願っております。

はぐくみのまちづくり運動

挨拶から育てる社会性



中条中学校長 戸田 祐子

地域の方々から「子どもたちの挨拶がよくなりましたね」「近所の中学生が、朝晩挨拶してくれて気持ちがいい」これらの言葉が聞かれるようになり、「挨拶のよい中条中生」が定評となってきているのはうれしいことです。

当校伝統の『あせまみれ運動』の筆頭にある挨拶は、人間関係づくりの基本です。心を入れて発する言葉の響きは温かく、周りの人の心を和やかにします。毎朝、生徒玄関前で応援団の生徒から「お早うございます」と元気よく声をかけられると、一日の意欲がわくし、廊下で来校者に「こんにちは」と笑顔で会釈する生徒を見かけると、礼節の備わった姿を誇らしく思える。

市の学校教育で目指す一節に「自立して社会で生きる子どもの育成」が掲げられています。網の目のように他人と関わり合う社会において、挨拶や応答が適切にできることは、自立に欠かせない社会性の要素の一つ。

学校、家庭、地域が一体となり人間関係づくりの力として指導し、時には範を示していくことが、学校を含む地域全体の教育力となると確信しています。



“小中一貫あいさつ運動”中条小学校門での活動の様子

今後の振興会運営について



振興会長 丸山俊久

振興会長をお引き受けし、間もなく任期の2年を迎えようとしております。この間、多くの皆様、関係団体からお力添えを賜り、心から感謝申し上げます。

あらためて申し上げるまでもなく、現下の地域運営は課題も山積し、なかなか難しいという状況にあります。このような状況を背景に、本年度から中条飛渡地域協議会という地域自治組織を再編、設立し、市の交付金を財源にして振興会と表裏一体の関係で地域運営に当たるといふ仕組みが整いましたので、これを機会に振興会の諸事業の在り方や仕組みも見直す必要があ

ると感じています。もちろん長い歴史や実績を尊重しながら、慎重に取り組むべきと考えております。また今後地域で使われる予算の規模も大きくなり、地域協議会と振興会の予算決算等の全容を分かりやすく公開していくことが求められます。

また、これから年度末の行事、そして新年度に移ると各団体の総会等が続きますが、これらの定例的な行事についても何か工夫できないか、可能なものは年度内に、それ以外は新しい体制の中で関係者の皆様と一緒に相談してゆくべきと考えております。

振興会の運営につきましては、これまでもご意見、ご批判を頂戴しておりますが、引き続き、建設的なご意見をお寄せいただき、また事業運営にも積極的に参画頂きますようお願い申し上げます。

笹山ボランティアガイド日誌より

7月29日～9月16日の週末の(金)(土)(日)に縄文館で、振興会を中心として、ボランティアガイドを行いました。訪問者は265人。遠くは京都からの人や、教科書に載っていたので勉強に来たと言う小学生もいました。笹山のPRに地元も頑張っています。
(振興会副会長 樋熊トミ子)

尾台榕堂記念碑建立一周年を祝う

10月29日(月)に記念碑の清掃をした後、東京都中央区を訪問し、建立に至るまでの中央区のご尽力に対して感謝と交流、親睦の会を開いた。

十日町市からは、蔵品教育長、藤巻記念碑作家、振興会役員など総勢13名が建立一周年記念事業に参加した。



整備作業のお礼

恒例の城山～峰の薬師線の整備作業が7月29日(日)に行われました。大勢の皆様からお骨折りいただき、きれいに整備することができました。

皆様のご協力に、心から感謝申し上げます。

初冬の空気が澄みわたる季節となりました。暖かい日には、十分な防寒対策をして、散策に体力増強に、中条スカイラインをどうぞご利用ください。



暑い暑いと残暑を嘆いていた初秋も今は昔。日に日に寒さが身にしみるこの頃になってきました。季節は決まり正しく巡って来るものですね。

今号の編集にあたって、様々な催しと共にその時々を思い出し、妙な感慨に浸ってしまいました。

これから訪れる白季節の前に、皆さん気忙しい毎日と思えます。

しかしながら、その雪こそ当地の風物詩、と腹をくくり、少しでも雪を楽しみながら冬をすごせれば、なんて思っています。

屋外での活動は限られてしまいますが、この冬も振興会及び青少協では様々な催しを企画しています。皆様のご協力・ご参加をお待ちしております。雪に負けない温かな心で冬を乗り越えましょう。

今後の主な予定

■ 中条地区振興会 ● 青少年育成協議会

- ちんころ作り…12月8日(土) 午前10時～
- 山手交流…2月8日(金)～10日(日)
- 中条冬まつり…2月9日(土)
- 新春懇親会…未定
- スノーシューでの里山歩き…3月中旬を予定